

## 6 - 6 四国地方の上下変動

### Vertical Movement in the Shikoku District

国土地理院  
Geographical Survey Institute

今回の報告は、連絡会報、28巻、中国、四国地方の上下変動、29巻、四国地方の上下変動、に引続く報告である。

第1図（善通寺市～阿南市）。今回の比較でも阿南市側が沈下している。

第2図（阿南市～室戸市）。前は東洋町付近からみて室戸市側が急激に沈下をしているが、今回の比較では沈下現象はなく、阿南市と室戸市では相互の変動はない。阿南市と室戸市の間で多少の隆起がみられる。

第3図（高知市～室戸市）。高知に対し室戸が前回、今回共大きく沈下している。測量のインターバルからみると、高知と室戸の相対的な変動は加速されたといえる。

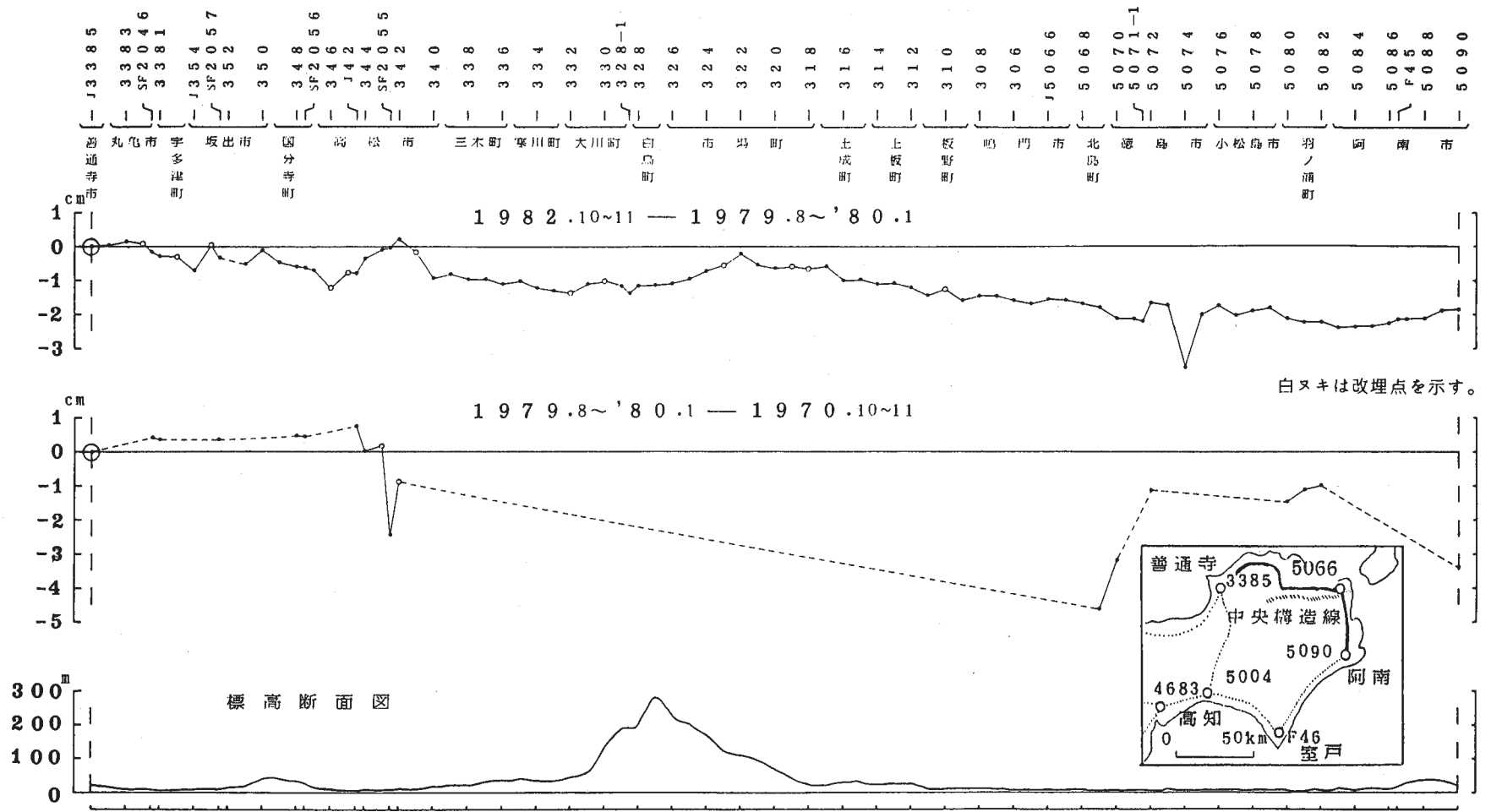
第4図（松山市～佐川市）。松山に較べ佐川側が前回、今回共に同じような隆起の傾向である。

第5図 善通寺を不動とした四国地方全域の水準網平均計算の結果である。高知から太平洋沿いの西半分では大きな隆起となり、室戸では約1cmの沈下となっている。前回の報告<sup>1)</sup>では高知の隆起は2～3cmで、室戸の沈下は6cmである。高知と室戸の関係は同じような傾向であるが、今回は善通寺に対して太平洋側の相対的隆起が大きいため、室戸の沈下量が小さく求められた。

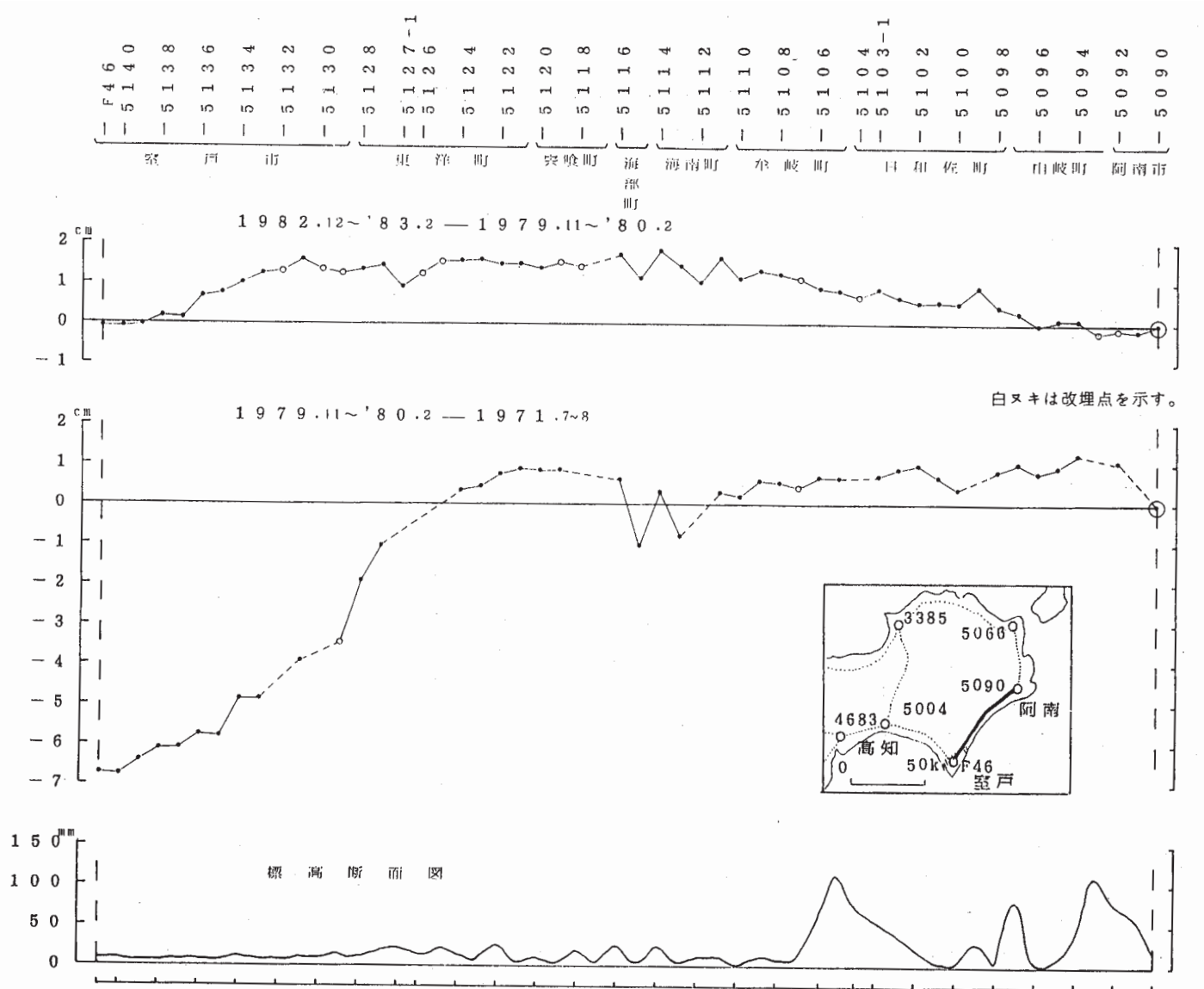
第6図 四国地方の各験潮場間の年平均潮位差を表わしてある。水準測量の結果とほぼ同じ傾向を示している。

#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院測地部：四国地方の上下変動，連絡会報，24（1980），228 - 231.
- 2) 国土地理院：中国・四国地方の上下変動，連絡会報，28（1982），306 - 308.
- 3) 国土地理院：四国地方の上下変動，連絡会報，29（1983），325 - 331.

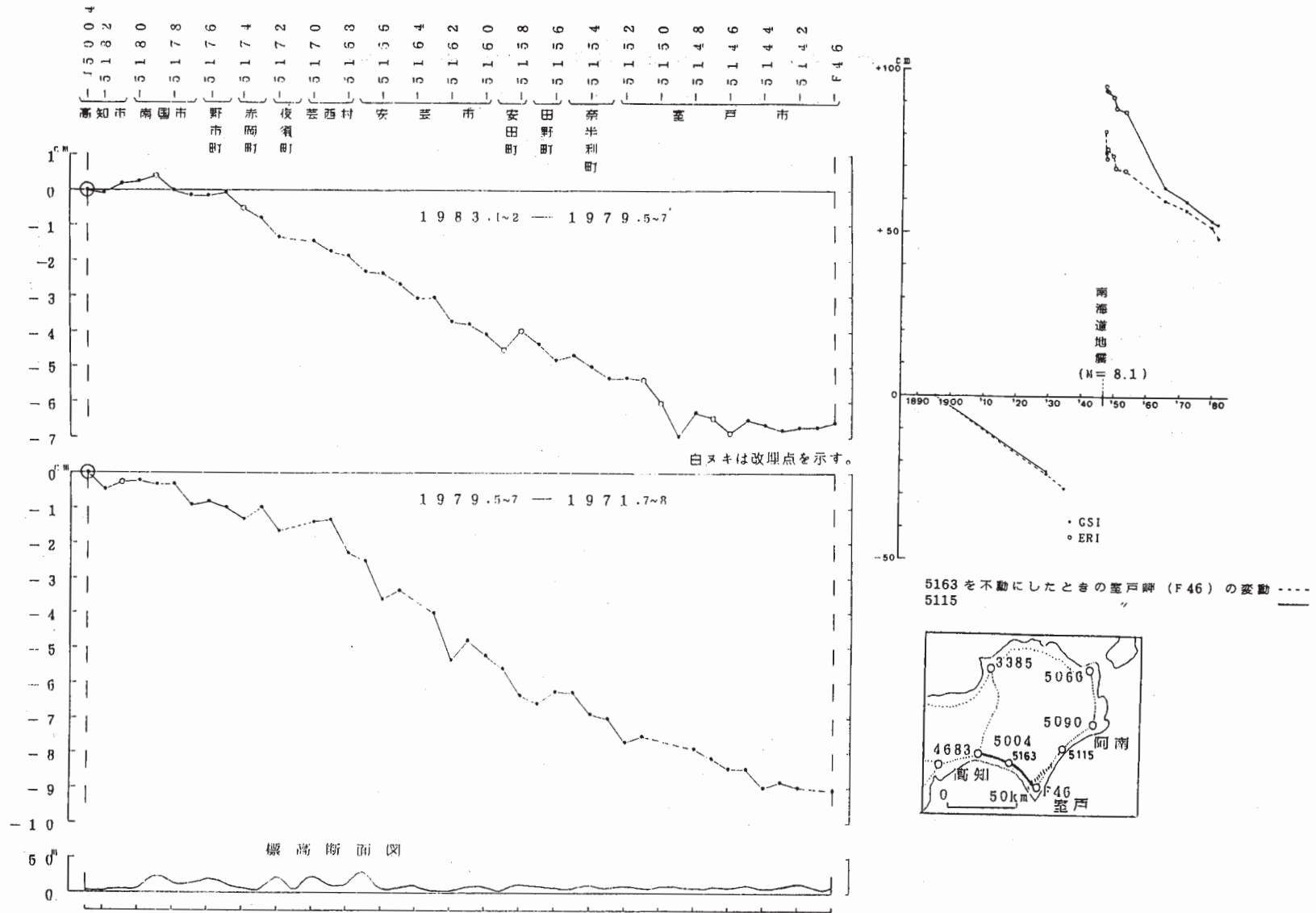


第1図 善通寺～阿南間の上下変動  
 Fig. 1 Level changes along the route from Zentsuji to Anan.



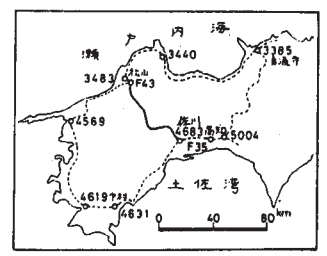
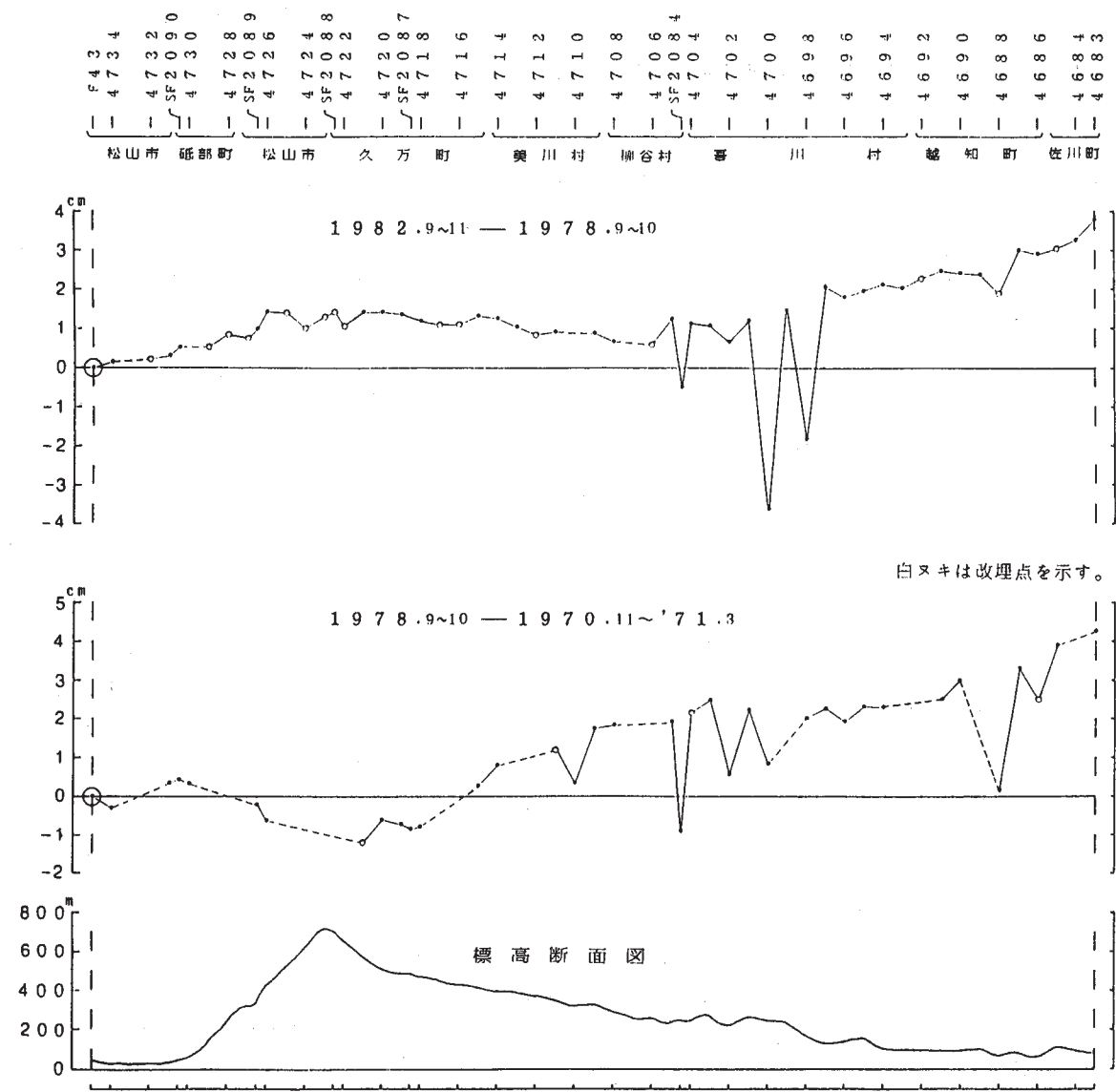
第2図 室戸～阿南間の上下変動

Fig. 2 Level changes along the route from Muroto to Anan.

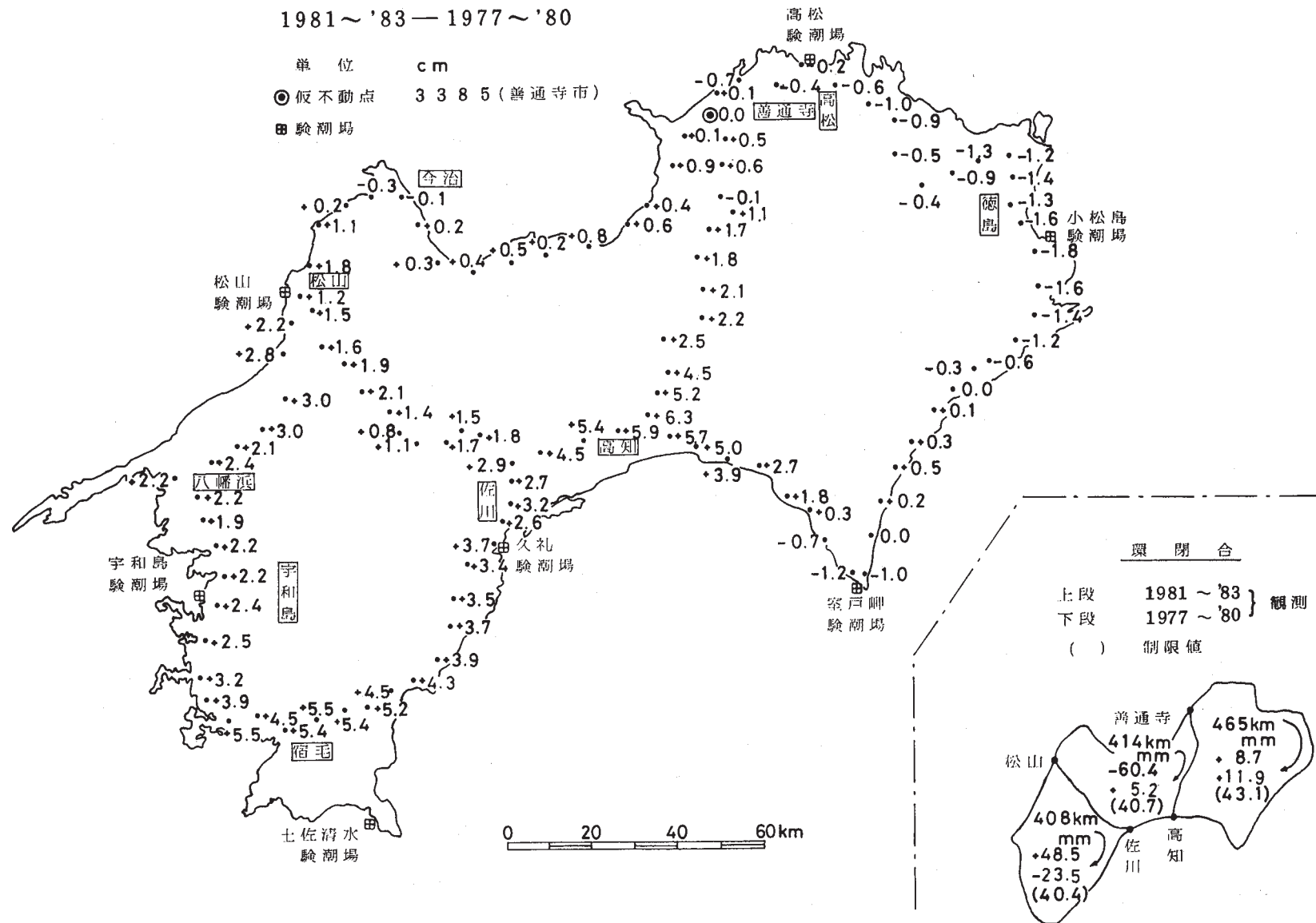


第3図 高知～室戸間の上下変動

Fig. 3 Level changes along the route from Kochi to Muroto.

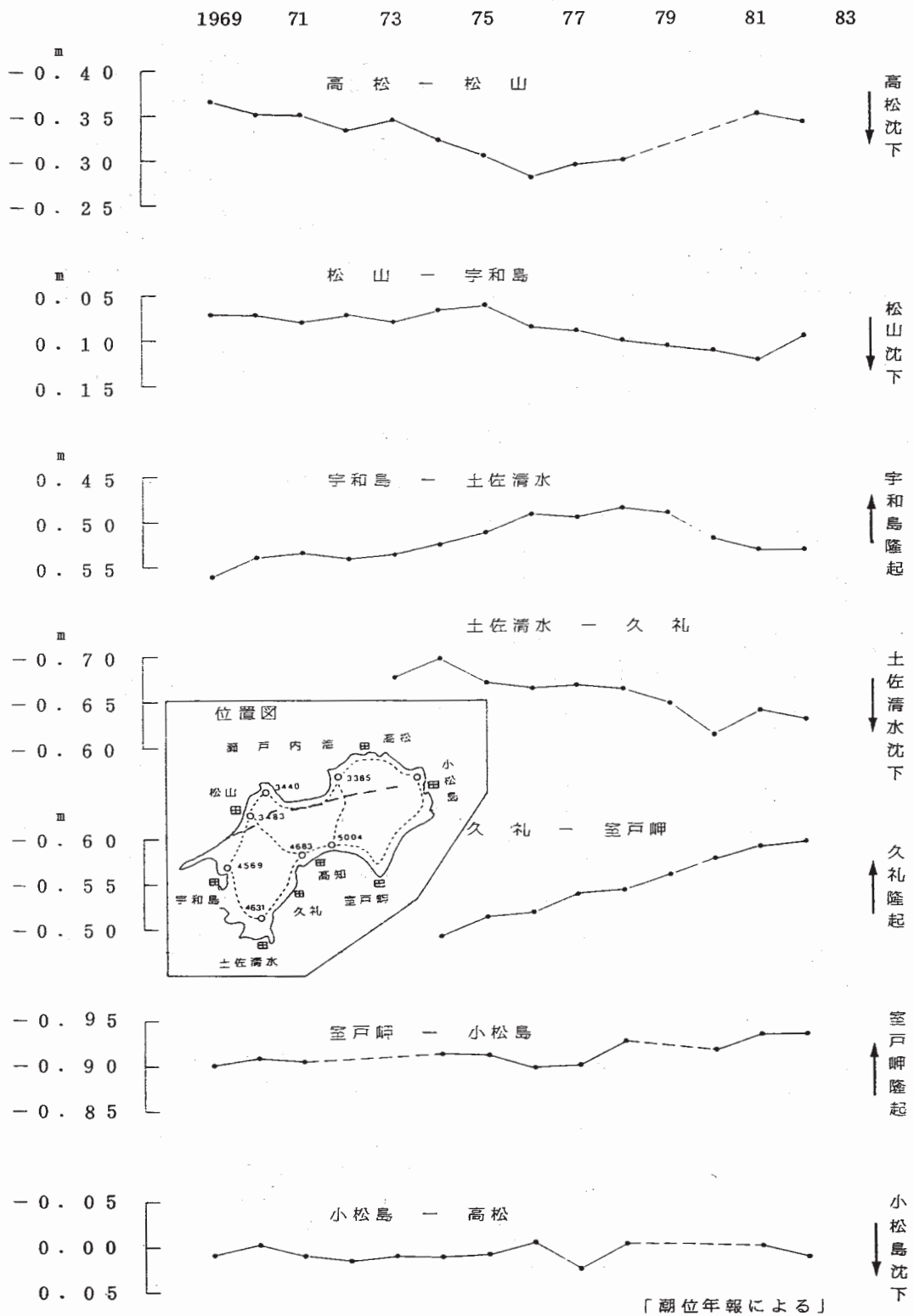


第4図 松山～佐川間の上下変動  
 Fig. 4 Level changes along the route from Matsuyama to Sagawa.



第5図 四国地方の上下変動

Fig. 5 Vertical movement in the Shikoku district.



第6図 四国地方各験潮場間の年平均潮位差

Fig. 6 Difference in annual mean sea level from tidal station pairs in the Shikoku district.